



2021年2月1日

各位

会社名 新内外綿株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 長門 秀高
(コード番号 3125 東証第2部)
問合せ先 取締役 執行役員 業務部長 石田 仁紀
(TEL 06-4705-3781)

当社株式の時価総額に関するお知らせ

当社株式は、2021年1月において月末時価総額が10億円未満となりましたので、今後の見通し等につきましてお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、2021年1月の月末時価総額が10億円未満となりました。東京証券取引所の有価証券上場規程第601条第1項第4号a本文では、9ヶ月(事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を3ヶ月以内に東京証券取引所に提出しない場合にあつては、3ヶ月)以内に、毎月の月間平均時価総額および月末時価総額が10億円以上とならないときは、上場廃止になる旨規定されております。

(ご参考)

- ① 2021年1月の月間平均時価総額 1,077,064,821円
- ② 2021年1月の月末時価総額 997,538,200円

(2021年1月29日終値 509円×2021年1月29日上場株式数 1,959,800株)

2. 今後の見通しについて

新型コロナウイルス感染症の脅威は衰えを見せず、一時的には政府の各種施策により観光業関連を中心に一時的には持ち直しの動きが見られましたが、今年に入り感染再拡大に伴う二度目の緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う商業施設の臨時休業や営業時間短縮、外出自粛要請による個人消費の冷え込み等の影響を受け、経済活動の制限は続いており、売上高の維持・拡大に大きなブレーキがかかっています。

当社は、その新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けており、紡績部門の主力商材で原糸販売の約6割強を占める空糸の売上高が回復しないまま、受注が戻らない状況が続いています。また、テキスタイル・製品部門におきましても、新型コロナウイルス感染症による百貨店やアパレルの売上高減少による過剰在庫から受注減少のあおりを受け、売上の回復には至っておりません。

このような状況下で、当社グループは現状を打開するにあたり、糸糸に依存した販売からの脱却を図るため、混紡糸商材・別注商品・得意先との協同開発による商材の販売強化に全力を注いでいます。また、環境負荷軽減に配慮した商品を前面に出した再生糸を作るプロジェクト「彩生」で、新しい仕組み作りに挑戦しています。今後も様々な施策の取り組みと引き続き経費の抑制等のコスト削減に努め、社員一丸となって収益性の向上に努力をしまいる所存です。

当社としては、2021年4月末までの間に、東京証券取引所へ「事業の現状、今後の展開、事業計画の改善、その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面」を提出する予定であり、上場を維持するべく努めてまいります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけいたしますが、今後とも引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上